

写真 4-1-5 コンデンサを取り付けた基板

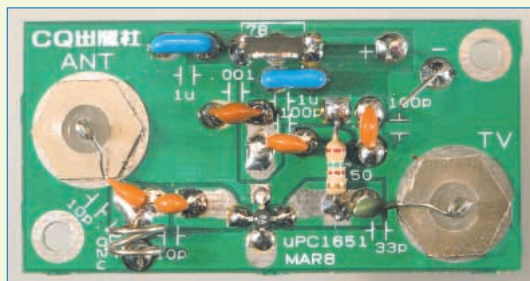


写真 4-1-6 完成した据置型ブースタ (IC は MAR-8ASM)

④ 残ったリード線を約 1mm にカットしてからコンデンサを基板に押しつける。

⑤ 残りの片方のリード線をはんだ付けする。

写真 4-1-5 はコンデンサを取り付けた基板です。

▶ コイルの取り付け

巻いておいたコイル L の形をくずさないように注意してはんだ付けします。

▶ 三端子レギュレータの取り付け

① 三端子レギュレータのリード線を直角に曲げてから、1～2mm 程度残してカットする。

② はんだ付けする 3 か所のうち端の 1 か所に予備はんだを盛っておく。

③ 予備はんだをしたパターンへはんだ付けする

④ 残りの 2 本をはんだ付けする。

⑤ 三端子レギュレータが放熱しやすいように、ほかの部品と触れないようにしておく。

▶ 広帯域増幅用 IC の取り付け

① μ PC1651 なら、丸いパターンに取り付ける。

② MAR-8ASM なら、四角いパターンに取り付け、抵抗 $R = 150 \Omega$ を追加する。

③ 広帯域増幅用 IC の裏側に薄く接着剤を塗り、基板に固定してからはんだ付けするとよい。

▶ F 型コネクタ (メス) を取り付けて完成

① 基板に F 型ケースを取り付ける。

② F 型コネクタの心線部分にコンデンサのリード線をはんだ付けする

写真 4-1-6 は F 型コネクタを基板に取り付けて完成したブースタ基板で、広帯域増幅用 IC は MAR-8ASM なっています。

■使ってみる■

写真 4-1-7 は広帯域増幅 IC を μ PC1651 とした基板を、ケースに入れたものです。ケースはタカチ SW-65 (45 × 25 × 65mm) です。基板をケースに取り付ける方法は、F 型コネクタの取り付けネジを利用してします。

またケースには DC ジャックを取り付けて、出力が DC12V の AC アダプタを接続するようにしま